

請願第1号



京都府後期高齢者医療保険料・窓口負担の  
引き下げなど、制度の改善に関する請願書

紹介議員

玉本 なるみ

# 京都府後期高齢者医療保険料・窓口負担の引き下げなど 制度の改善に関する請願書

## 請願の趣旨

- 1 京都府後期高齢者医療保険料・窓口負担を引き下げること。
- 2 京都府後期高齢者医療保険料・窓口負担の減免制度を拡充すること。
- 3 2024年4月に予定されている保険料値上げを中止するように国に意見書を上げること。
- 4 後期高齢者健康診査の充実、人間ドックへの補助を拡大すること。

## 請願の理由

2022年10月から、従来の基準に加え、課税所得が28万円以上かつ「年金収入+その他の所得金額」が単身世帯200万円以上、複数世帯は320万円以上の府民が2割負担になりました。京都府の75歳以上の高齢者のうち約2割の方々が対象です。この制度変更の影響調査では、2倍化後の負担感が「とても重い」「重い」と答える方が多数で、受診抑制も起こっています。

そもそも「ゆとりがあり、まったく心配ない」75歳以上の高齢者は12.5%にすぎず、3割近い方が「家計にゆとりなく多少心配、非常に心配」（令和4年高齢社会白書）と不安を感じています。また、昨今の物価高は高齢者・国民の生活を直撃しています。

こうした後期高齢者の実態のなかで、高齢者の暮らし・いのち・健康を守るために、保険料・窓口負担の引き下げが必要であり、予定されている4月の保険料引き上げも見直しをすべきです。

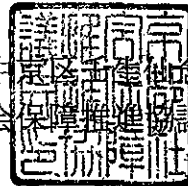
さらに、特定健診や保健指導が健康年齢を引き上げ、医療費の抑制にも効果があることが厚労省などの調査で明らかになっています。糖尿病・心臓病・脳卒中などの生活習慣病の発症や重症化を未然に防ぐために、健診項目に胸部レントゲン検査・心電図・聴力検査・歯科健診などを加えるとともに人間ドックの受診料金を引き下げ、受診しやすくすることも必要です。

2024年1月24日

京都府後期高齢者医療広域連合議会議長  
下村 あきら 様

請願者

住所 京都市中京区千本仙念町30-2 ラポール京都6F  
氏名 京都社会保険推進協議会議長 渡邊 賢



電話 075-801-2526